

資産レンタルもスマホでシェアする時代へ

部屋貸し&駐車場貸し で稼ぐ!

スマホやSNSの発達で生まれた、物・お金・サービスを交換・共有する「シェアリングエコノミー(共有型経済)」。その代表格ともいえる、部屋貸し。そして新たに広がる駐車場貸しの、実際のトコロって?



**日本発、部屋貸しサービスが
7月から始動。沖縄エイサー
祭りで1泊2900円と得**

現在、日本で唯一、個人間での部屋貸しを提案するサービス「とまりーな」を運営する上山康博さん。米国の「Airbnb」に代表される部屋貸しを、こう考える。

「一般家庭への宿泊、つまり民泊は、今後伸びるだろうし、やるべき。ただ、現在の日本では旅館業法を取得していない物件で、反復継続的な宿泊業を営むのは禁止。犯罪の抑止などの安全や衛生面など、クリアしなければならぬ課題があるんです」

「Airbnb」は現在190か国で使われており、日本のホストは約1万部屋。残念ながら、旅館業法に違反している可能性は少なくない。一方、ビザの緩和や円安などの影響もあり、ここ2〜3年で訪日外国人は増加。年内には1500万人を突破する勢いで、70%超は東京・大阪・京都に集まる。そのため宿泊施設は足りず、泊まりたいのに泊まれない人も増えている。

「とまりーな」は公共のイベント会期中に限定する反復継続的ではない民泊を提案するサービス。地域の祭りや花火大会、国体や駅伝など、地方に人が集中する期間中だけ空いている部

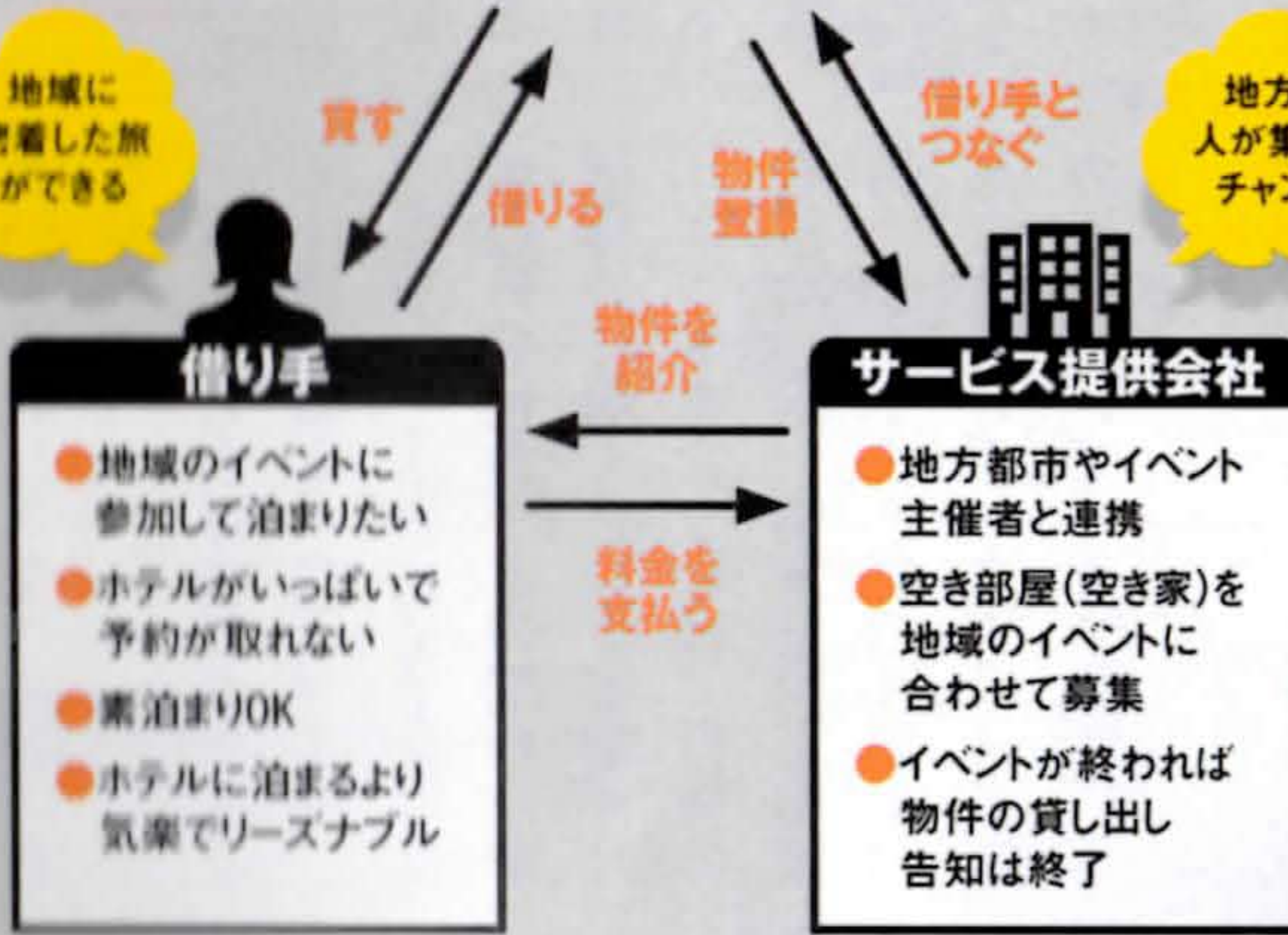
民泊のしくみ

2015年6月の閣議決定により整理され実現したイベント民泊。公共性のあるイベント開催時、借金が不足し地元の要請を受けて実施される場合は、旅館業法の規制を受けない。「借り手の条件を明確にするのがコツ」(上山さん)

貸し手

- 地域のイベント(花火大会、スポーツ大会、祭りなど)時に空き部屋(空き家)を貸せる
- 地域活性化に興味がある

基本的に素泊まりだから準備もラク



屋や家を貸してみませんか? というものです。宿泊は日帰りの3倍の経済効果を生む。それが外国人観光客なら、さらに多くなる。宿泊に加え飲食や買い

DIME Check!

稼ぎ度 ★★★★★

リスク度 ★★★★★

手軽度 ★★★★★

会期中だけ空いている部屋を貸すのは気楽。また、ゲストの条件を決められるのも、いいリスクヘッジ。ただ、年に1度や2度で短期間だから稼ぎは見込めない。

「民泊がコミュニケーションのきっかけになればいいですね。親戚みたいに毎年、訪れるとか、短期的にイベントとしておももしろいと思います」

日本の空き家は約820万戸。今後はスマホ利用により、当日予約に対応するなどの利便性の向上が普及のカギになる。資産をシェアする時代はもうすぐだ。



地方創生は旅行者が鍵です!

百戦錬磨 代表取締役社長
上山康博さん
KLab取締役事業本部長、楽天トラベル執行役員を経て、2012年に百戦錬磨を設立。旅を通じて地域を活性化させるサービスを提案。